

特定非営利活動法人

ほしのくま

発行：NPO法人 星のくま
 住所：雲仙市愛野町乙2336-1
 TEL：0957-36-7575 FAX：0957-36-7576
 URL：hoshinokuma.com
 発行責任者：磯田 正也

ほのぼのとしあわせになろう
 のんびりとくじけるな まけるな!



ひたむきに「質」の向上を目指して

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

特定非営利活動法人「星のくま」も今年で五回目の新年を迎えることができました。これもひとえに、皆様方のご支援とご指導の賜とお礼申し上げますと共に、「星のくま」が提供する各種サービス事業を選択し、利用して下さる利用者様、ご家族様、地域の方々や、関係する各種団体様のおかげと深く感謝を申し上げます。

今後とも私達は物事をはっきりと見極め、皆様の声をよく聴いて、より良いサービスをしつかりご提案する、そのような法人であり続けたいと考えています。

平成三十年四月のトリプル改正（医療・介護・障がい）も大体の骨子が出そろい、障がい分野は0.47%のプラス改定と報じられました。また同時に各種加算等の検討も行われましたが、一応は延長の方向で決着された様子です。しかし、現在の社会保障制度を維持する為、プラス改定や加算の延長等で本来に良かったのかと釈然としない思いもあります。私達は、報酬等の増減に一喜一憂するのではなく、提供するサービスの「質」の向上を一途に追求し、利用者の皆様や地域の皆様に「期待」を持って利用して頂けるような法人となるべく、職員一同真摯に取り組みまいります。皆様からの更なるご支援、ご鞭撻を心からお願い申し上げます、新年の挨拶と致します。

NPO法人 星のくま

理事長 磯田正也

就労移行支援事業 職場実習を実施

今回橋内貴博さんが、諫早市森山町にあります「(株)雲仙きのこ本舗 森山センター」さまで4週間の体験実習を行われました。今回の体験実習では「企業の従業員の方とコミュニケーションをとりながら仕事を遂行できるか」を目的として、シメジの収穫・運搬などの業務を行われました。実習中の橋内さんは、従業員の方の説明をよく聞き、指示された通りに仕事に取り組みられていました。また、挨拶を行う時は大きな声で、話を聞くときは必ず相手の顔を見る、という何事にもひたむきに取り組む姿勢は従業員の方にも好印象を与えたようです。

今回の体験実習を通して、橋内さんは仕事をする楽しさを知り、今後色々な訓練に取り組むための自信にも繋がったようです。今回の体験実習を活かし、一般就労へ向け歩みを進めたいと思います。



今年も雲仙市千々石町の橋神社へ初詣に出掛け、各々本殿に手を合わせて今年一年の祈願をしました。皆さんに何をお願いされたのか尋ねると、「結婚できますように」や「健康で過ごせますように」など様々で、新しい年を迎えて気持ちも新たに参拝されていました。年始からたくさんの笑顔を見ることができ、平成三十年も良いスタートで迎えています。



ワークセンターあいの



～他事業所の作業現場を見学してきました～

日帰り旅行 in 福岡県大牟田市



今年度は作業への意欲向上を目的として他事業所の取り組みを学ぼうと観光に加え、事業所見学を取り入れました。今回見学させて頂いた「社会福祉法人キリスト者奉仕会」さまで、とても丁寧詳しく、ご説明を頂き、利用者の皆さまもそこで実施されているタオルクリーニング作業の様子を興味深く見られたり、気になった事には積極的に質問をしたりと良い刺激を受けられていたようです。

また、目的地「大牟田」まではフェリーに乗って一味違った旅情を楽しみ、普段味わう事のない充実した一日となりました。

労働基準法に則って利用者の皆様に給料を支払うのがA型事業です。作業で得た利益を利用者の皆様の間で分配するのがB型事業です。A型であってもB型であっても、障がいのある人たちの働く場を運営している以上、その労働の価値を高める努力や成果が、事業所側には求められます。B型を利用するのは誰でしょう。B型は「作業能力が最低賃金に足りない人」や「工賃よりも労働環境に価値を見出している人」のために存在しているとも言えます。

利用する人たちの選択肢が増えていく中、私たちはどのような価値を打ち出せるのか、労働の在り方とともに、事業所のグランドデザインともいえる将来像を描き続けることが大切です。

「将来像」を描くことの意味に、関連する最も重要な要求は「ビジネス要求」と「ステークホルダー要求」です。「ビジネス要求」とは、法人の目的及び目標またはニーズを概要レベルで表現した要求です。一方「ステークホルダー要求」は、特定のステークホルダーのニーズについて表現した要求です。

B型事業は利用者には払われるものは賃金ではなく工賃と呼ばれています。工賃を増やす努力を国が音頭を取り、工賃倍増5ヶ年計画のもとに実施してきましたが、成果は十分とはいえません。制度としては、作業収入から経費を除いて全て利用者に配分することになっています。一見利用者には有利な制度にみえますが、作業収入を増やすインセンティブにはならず結果工賃のアップに結び付いていません。

もう一つの問題は、実体として労働に近い形態であるにも関わらず、労災など労働法の適用もなく働いているという指摘です。課題も多い一方で、今後福祉就労の機会が増えます。課題も増えていくと思われま。

障がい者の職業選択の自由と権利を尊重し、障がい者の雇用への努力が求められています。一般就労ができれば良いのですが、いろいろな事情でできない人たちが多くあります。障がい特性、収益性、何より障がい者にとってやりがいいのある事業であることを検討する必要があります。地域内が農業の一大生産地であることを鑑み、農福連携事業として地元農家やJAとネットワークの構築も検討の価値があるでしょう。マーケットのリサーチは重要になってきますが、ありふれたビジネスでもターゲットのニッチ(隙間)を探ることにによりビジネスチャンスを見つけることが出来ます。結果として県平均工賃をクリアし、利用者の皆さんが行きたい事業所となるのです。

厚労省はこのほど就労継続支援B型事業の基本報酬について、利用者の平均工賃を基本報酬を設定する考えを明らかにしました。B型は「高い工賃の稼げる活動にはより多くの支援コストがかかる」との理由から、平均工賃に着目して成果を図る方針。B型の基本報酬のメハリは緩やかに設定したい」としています。

NPO法人星のくま アドバイザー 菅崎康範

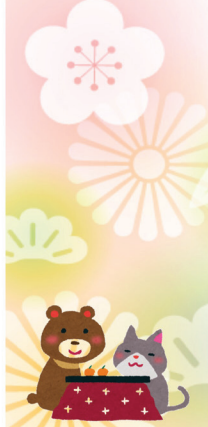
「工賃」みる代表値(1) (第三回)

ケアステーションあいの



あけまして おめでとうございませう

今年最初の行事として、三班に分かれ初詣へ行ってきました。雲仙市千々石町にあります橋神社へ赴き、大門松を見て、凛とした雰囲気の中で参拝をしてきました。引率した職員も利用者の方の皆さまの健康と幸せと一緒に祈願してきました。本年も皆さまの元気な笑顔がたくさん見られるよう、精一杯努力して参りますので、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。



水素風呂始めました。

ケアステーションのお風呂に水素風呂を導入しました。水素には活性酸素を除去する働きがあるそうです。そのため高血圧や皮膚疾患(アレルギーなど)、冷え性などで悩んでいる方には効果が期待できます。また浴室内の空気中に溶け込んだ水素も、呼吸により体内に取り込むことが出来るため体の内側から温まるようです。利用者の皆さまからも「ポカポカする」と好評です。



『健口体操』

食前には必ず！
けんこう
『健口体操』
食前に利用者の皆さまが行っている口の体操が健口体操です。口の動きを良くして、食べ物の飲み込みをスムーズにしたり、唾液を出しやすくします。皆さまがいつも楽しみにされている食事だからこそ、より美味しくおしゃべりができるように続けていきます。



今回の日帰り旅行は福岡県にある「マリノワールド海の中道」へ行ってきました。イルカショーを見てその迫力に感動したり、見たこともない海の生き物を見て回ったりと、皆さま大興奮でした。

日帰り★バス旅行★

その後「博多はねや総本家」にてたくさんのご馳走を美味しく頂いた後は、それぞれお土産を楽しそうに選ばれていました。行き帰りのバスの中ではカラオケも歌い、楽しい一日を過ごしました。

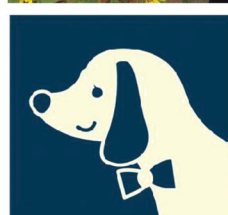




キッズステーションあいのも今年で4年半を迎えることができました。昨年、日に日に成長していく子ども達と笑顔が絶えない日々を送ることができ、充実した1年となりました。今年、子ども達ひとりひとりの個性を活かし、輝いた日々が送れると共に心に残る思い出をつくることできるよう職員一同日々精進してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



キッズステーションあいの



盛り付け

うま〜い!

みんなでピース



キッズステーションあいのオリジナル弁当

冬休みに、小グループにて「オリジナル弁当作り」を子ども達が自ら計画を立て行いました。調理の時は、子ども達がそれぞれ意見を出し合い盛り付けや味の工夫をしました。完成したお弁当はお店で販売をしたいと思える程のお弁当となりました。

のりちゃん

の絵はがき

カレンダー

虹の原特別支援学校 中学部 1年 澁谷 紀香さん

日々の活動の中で、個性が持つ才能を発見することがあります。その才能を形にすることが出来ればと考えてきました。そこで、第一弾として、澁谷紀香さんのステキな絵

祝・成人おめでとうございます!

1月4日、雲仙市の成人式が行われる日にキッズステーションあいの卒業生の山道一晟さんが挨拶にきてくれました。社会人となり、一皮も二皮もむけた姿を見ることができ、とても嬉しく私たち職員もなお一層頑張らねばと思いました。スーツを着てカッコよく決まった一晟さんの姿は子ども達の目標になったことと思います。

をカレンダーにし、「星のくまアトリエ」にて販売を行っています。

繊細で愛らしく、引き込まれる絵は日々の疲れを癒してくれるかのよう。ぜひ、「星のくまアトリエ」へ足を運んで頂き、お手に取って素晴らしいさを確認して頂けると幸いです。

～お知らせ～

昨年の11月より「くまの通信」を発行しています。行事など様々な情報を発信していますので、随時ご確認ください。

グループホーム星のくま1号館



謹賀新年 2018

新年あけましておめでとうございます。本年も元気いっぱい笑顔と共に新しい年を迎えることが出来ました。利用者の皆様もそれぞれの想いを胸に新年の誓いをたてられました。そんな利用者の皆様の願いが叶えられるように職員一同、寄り添いながら支援ができればと思います。また今年も利用者の皆様の笑顔がたくさん溢れ、元気に過ごして下さることを願いながら日々の支援にあたりたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

ダンスレパードリー
厨房の仕事を頑張る！を増やすぞ!!

今年も
よろしくお願ひします

元気なものを
たくさん食べる!

今年も4回は
映画を見るぞ!

毎日楽しく
過ごせますように...

冬イベント

冬といえば、クリスマスや忘年会、お正月とたくさんのイベントがあります。星のくま1号館でもそれぞれのイベントを楽しみましたのでご紹介します♪♪♪

満喫中...



Merry Christmas

乾杯〜!
おつかれさま!

忘年会

避難訓練 実施中!

たまには...
男同士の
ゆめもんだ!

月に一度、男性、女性に分かれ活動をしています。今回は男性利用者の方々の外出の様子です。ガッツリした昼食はさすがに男性! たまには女性抜きでの外出もいものですね♪

避難訓練 実施中!

火事や地震に備え、定期的に避難訓練を行っています。何も起こらないことが一番ですが、もしもに備え、日頃の訓練を重ねています。

平成29年度 星のくま 大忘年会

12月5日に、今年の星のくま大忘年会を開催しました。

食事はワークセンターあいの手作りの豪華オードブルで皆さんおいしそうに召し上がられていました。

お腹も満たされ皆さん食事が落ち着いてきた頃に、忘年会では定番の余興合戦となりました。

今回の事業別の出し物は、今年話題となった「35億」や「バブリー」、「au三太郎」などを盛り込んだオリジナルの内容で、演じている皆さんも役に入り込み、終始大爆笑の余興合戦となりました。

お楽しみの抽選会では、豪華な賞品が並んでいる中、皆さんドキドキしながらくじを引かれていました。賞品ゲットした時の皆さんはとても嬉しそうで今年残りの運試しをしているようでした。



もちつき大会

恒例のもちつき大会を行いました。
今年も近隣の放課後等デイサービス事業所の児童さんたちをお招きし、子どもから大人まで一緒になって賑やかに冬の風物詩を楽しみました。
慣れないながらも杵と臼を使い、自分たちでついで、自分たちで丸めた出来たてのおもちを美味しく頬張る顔がとても嬉しそうでした。平成二十九年の最後を笑顔で締めくくることができました。



Merry Christmas



今年度も長崎ウエスレヤン大学様の留学生の方々に参加して頂き、外国のクリスマスソングやタイの伝統ダンスを披露して下さいました。見た事がない独特なダンスや音楽に自然と手拍子が起こり楽しまれたとともに興味津々な顔をされていらっしゃいました。

その後は、キッズステーションあいの子供達による楽器演奏と合唱を行いました。合唱では、「365日の紙飛行機」を手話を付けて行いました。約1ヵ月間練習してきた中で一番の発表で可愛くもあり、堂々とした姿をみると成長を改めて感じることができました。

最後には、待ちに待ったサンタとトナカイの登場に皆さん大喜びで、1人1人メッセージを読んでもらいプレゼントを受け取りました。今年も心に残るChristmas会となりました。

ワークセンターあいのクリスマス会

ワークセンターあいのでも雰囲気たっぷりのクリスマス会を行いました。クイズ大会やプレゼント、手作りケーキなどでとても盛り上がりました。



お正月も終わりに近づいた一月六日に、利用者の皆さまの無病息災を願って鬼火を行いました。
寒いながらも好天に恵まれた日和のなか、門松や正月の飾り物を燃やして邪気を払い、その火で昨年のもちつき大会で持えた鏡餅などを焼いてみんなでいただきました。
利用者の皆さまも神聖な火を囲んで、それぞれに今年一年間の健康と安全を祈願されているようで、大きく燃える炎と同じように、今年も一年間元気で頑張っていこうと思う行事になりました。



鬼火



サービスの質の向上を目指して...

第1回 星のくまQC発表会



今年度はサービスの質の向上を目指して、日本科学技術連盟QC専任講師の西田良夫先生を毎月お招きして福祉QC勉強会を行いました。今回は放課後等デイサービス事業に携わる職員からなる「くまのこチーム」と法人内の栄養士を中心とした「ペアーズ」の2サークルがより良い支援に繋げるための課題を見つけ、QCの手法を通して得た成果を発表しました。

ペアーズ

【配膳準備の短縮】

～食べ始めの時間を合わせて昼休みの時間をしっかり確保しよう～



重要要因	実施改善効果
職員が意識が足りない	QC活動を通じて、改善の重要性を認識し、意識を高めることができた。
作業と食事の準備が同時進行で進まない	作業と食事の準備を別々の作業として認識し、作業の優先順位を明確にした。
マニュアルの運用が定まらない	作業手順を明確にし、全員が理解できるようにマニュアルを作成した。
見えない	作業の進捗を可視化し、全員が作業の進捗を確認できるようにした。
職員への負担	作業の負担を軽減し、職員が安心して作業できるようにした。



くまのこチーム

【感染症予防】

～風邪やインフルエンザの徹底予防で利用率UP～

今後の支援に活かして...

QC発表会終了後、講師の西田先生より「どちらのサークルもチームワークが抜群で、リーダーを中心にとてもよくまとまっていたと思う。今回の経験者が次は教える立場になり、QC活動を継続させ、更なる工夫をして、利用しやすく、働きやすい職場作りに励んでほしい」との総評を頂きました。また、両サークルの努力を称え、理事長より「奨励賞」が授与されました。



今年度は、よりよいサービスを実現するために、QC活動を通じて、サービスの質を向上させることができました。この経験を活かし、今後の支援に活かしてまいります。

西田先生、ご指導ありがとうございました。また、理事長様、ご褒美をいただき、大変うれしかったです。これからも、利用者様の笑顔のために、頑張ります。

成人式&年祝い

news
第3回
星のくま運動会
開催決定!

日時:平成30年3月10日(土)
場所:雲仙市吾妻体育館

大原 衿香さん
二十歳の抱負!

ケーキやさんにならなうが、わたしのやめです。がんばろう

木田 優希さん

山本 一予さん
職員の松尾陵太さんも成人式でした!

編集後記

新年あけましておめでとうございませう。今年の干支は「戌年」。私事ではありますが「戌年」の特長は「勤勉で努力家」とあります。さて本年に当てはまるのか...

昨年「酉年」の「とり」をかけた収穫の年と呼ばれ、その次の年である「戌年」はスタートの年とも呼ばれます。また、来年の干支「亥」が「猪突猛進」するさまから、突き進む年となり、その為の下準備の年ともなるそうです。

今年は慌ただしく過ぎる日々を今一度振り返り、「戌年」に相応しくなるため、日々の支援、利用者様との関わりを大切にコツコツと一歩ずつ、頑張っていこう!と誓う年初めとなりました。

(星のくま 広報部)

星のくまの“旬な話題”をお届け中!

星のくま ホームページ
<http://hoshinokuma.com/>

星のくま facebook
<https://www.facebook.com/hoshinokuma.aino>